

活気と潤いがあり、みんなが「育つ」学校を目指して

自分の一歩 みんなの一歩

校長室だより II

朝霞市立朝霞第一小学校

令和3年9月27日

No.53 (合同No.19)

校長 野口 邦彦

心は見えないけど、見える時代に

だからこそ今、「心の教育」が大事



「“思い”は見えないけど、“思いやり”は見える」東日本大震災の時に、テレビで毎日のように流れていた詩です。

人の「心」は見えません。しかし、SNS等などテクノロジーの発達により、この見えないう心が見えるようになってきました。



SNSの中では、色々な会話が飛び交います。でも、これがトラブルのもとになることも。

SNSは今や全世代に必須なアイテムであり、特に若者世代の友達との関係においては、なくてはならないものになってきています。SNSを通しての友達との会話（やり取り）、ついつい心で思っていることが文字（見える形）になって表れます。悪気があるがなかろうが、文字としてあらわれるものの中には辛辣なものもあります。そして、もっと厄介なのは、SNSは、手紙のように二人だけの間でかわされるのではなく、文字としていつまでもネット上に残り、場合によっては全世界に発信されます。ただ便利さに流され、SNSの特徴を知らなければ大変な事（時には犯罪にも）になってしまいます。

これだけSNSが普及すれば、危ないから使わせないという指導は通用しません。特に、子ども達に間違いを起こさせないためにも、「SNSの特徴」そして「正しい使い方」をしっかりと教えていく、「情報モラル教育の充実」しかないように思います。そして、もっと大切なのは、「便利になった社会だからこそ、もっと心を使う」今まで以上に「心の教育」が大事になってくるのだと思います。

夏休みに行った「情報モラル研修」今後、「心の教育」と合わせて、ますます大事になってくる分野だと思っています。「（危ないから）使わせない」ということが難しい時代。子ども達に間違いを起こさせないためにも「どう使えばいいのか」をくり返しくり返し、機会を見つけては教えていく、ネット社会だからこそ「心の教育の充実」、これ以外にはないのではないのでしょうか。

発展は幸福を阻害するものであってはいけない。